

第17回 とよおか福祉まつり

～「だれもが安心して暮らせるまち とよおか」に自衛隊が～



お雛子の様子



装備品展の様子

自衛隊栃木地方協力本部宇都宮募集案内所（所長 本郷3海佐）は、11月1日（土）豊岡地区福祉協議会が主催する『第17回 とよおか福祉まつり』において、広報展を出展した。

「とよおか福祉まつり」は、「豊作を祈る」、「害虫を追い払う」、「豊穰を感謝する」といった、農業を守るための伝統的な祭りであるとともに、地域住民が互いの活力を得たり、地域の文化を継承する目的として始まったものであり、自衛隊の参加は今回が初めてであった。

当日、豊岡公民館では「公民館エリア」・「野外イベントエリア」・「緑日エリア」・「相談コーナー」の大きく4つのエリアに区分されており、それぞれのエリアで世代を超えて地域の繋がりを感じ取れる志向になっていた。特に野外イベントエリアで執り行われた、近隣の学生と大桑町・芹沼自治会有志による『お雛子や獅子舞の披露』及び『がらまき』は、人々の切実な願いが込められた伝統芸能として現在まで継承されており、多くの住民がその勇姿を見ようと集まり、会場は活気に包まれていた。

自衛隊ブースでは、豊岡地区では初めてとなる自衛隊の制服試着体験や「1/2トトラックの車両展示、タペストリー・戦闘糧食の展示及び自衛隊缶バッジの配布等を行い、それぞれに行列ができるほど活気にあふれており、来場者からは「初めて自衛隊の車を見ました」、「海上自衛隊の制服って、かわいいですね」、「Pちゃん（P-1パイロットの宇都宮募集案内所長がデザインしたP1哨戒機のキャラクター）の缶バッジ、何種類もあり迷っちゃうよ」と好評を得るなど、自衛隊に対する理解を深める事ができた。

宇都宮募集案内所は、「今後も各関係協力団体と連携しながら、あらゆる機会を積極的に活用し、自衛隊の活動について理解を深めてもらうとともに、地域と一体となった採用広報活動を所員一丸となり推進していく」としている。